

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和8年 6月 22日

福島県知事 殿

提出者



住 所 福島県須賀川市下宿前111番地
氏 名 大内新興化学工業株式会社 須賀川工場
取締役工場長 大塚 裕昭
電話番号 0248-73-2171 (代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大内新興化学工業株式会社 須賀川工場
事業場の所在地	福島県須賀川市下宿前111番地
計画期間	令和8年4月 ～ 令和9年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	化学工業
②事業の規模	製造品出荷額 447,486 万円 (令和7年度)
③従業員数	223人 (令和8年5月現在)
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1、2、3、4のとおり

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙5のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】 別紙6のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙6のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙6のとおり
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙6のとおり

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ た 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和7 年度）実績】 別紙7のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

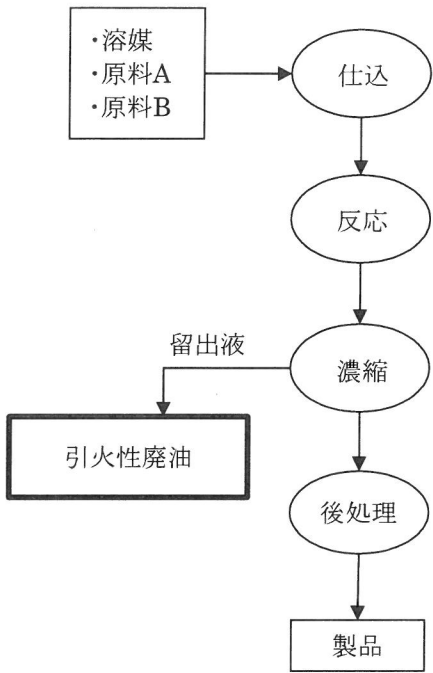
②計画	【目標】別紙7のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和7年度）実績】	
特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		209.914	t
(今後実施する予定の取組等) 全ての（特別管理）産業廃棄物の電子マニフェストによる運用を継続する。			
※事務処理欄			

(第6面)

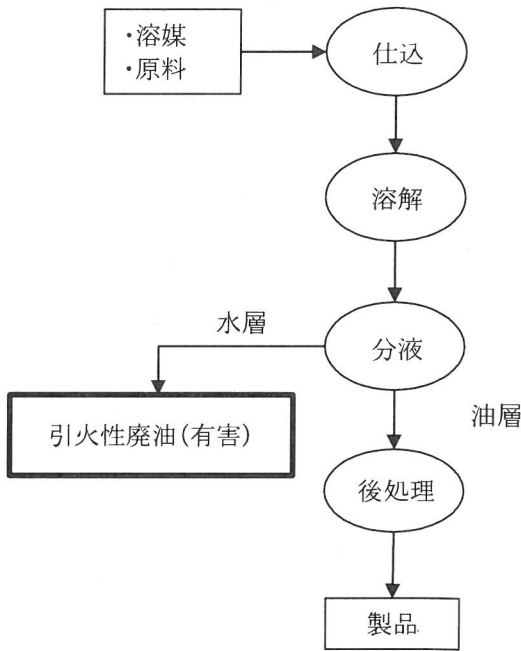
備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

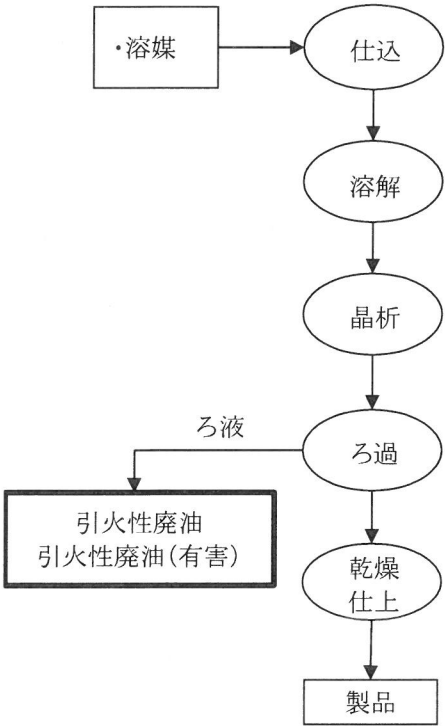
ケース1 (反応)



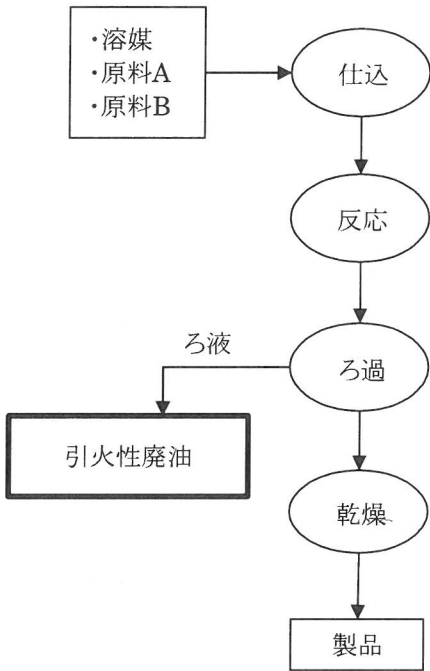
ケース2 (分液)



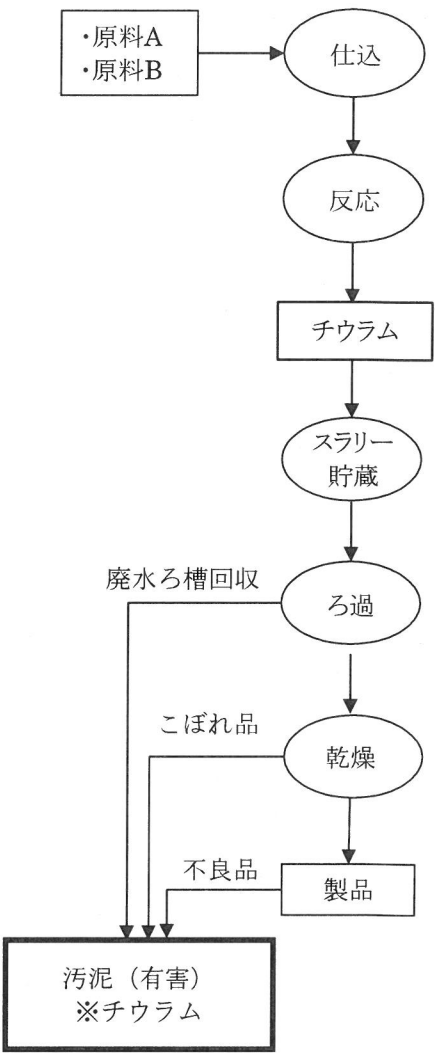
ケース3 (再結晶精製)



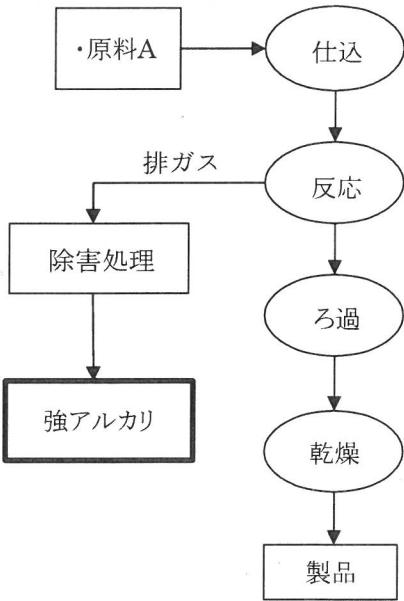
ケース1 (製造1)



ケース2 (製造2)

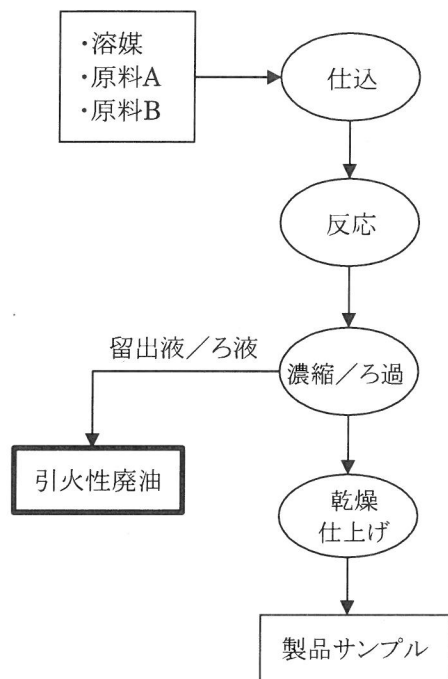


ケース3 (排ガス処理)

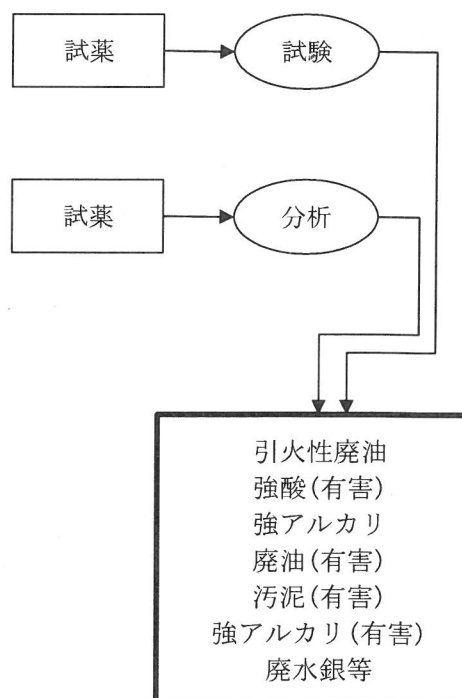


特別管理産業廃棄物発生工程フローシートNo. 3
(試験研究・不用在庫処分等)

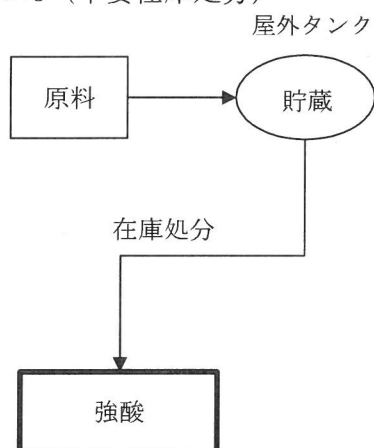
ケース1 (研究実験)



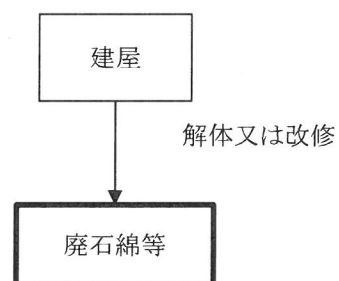
ケース2 (試験・分析業務)



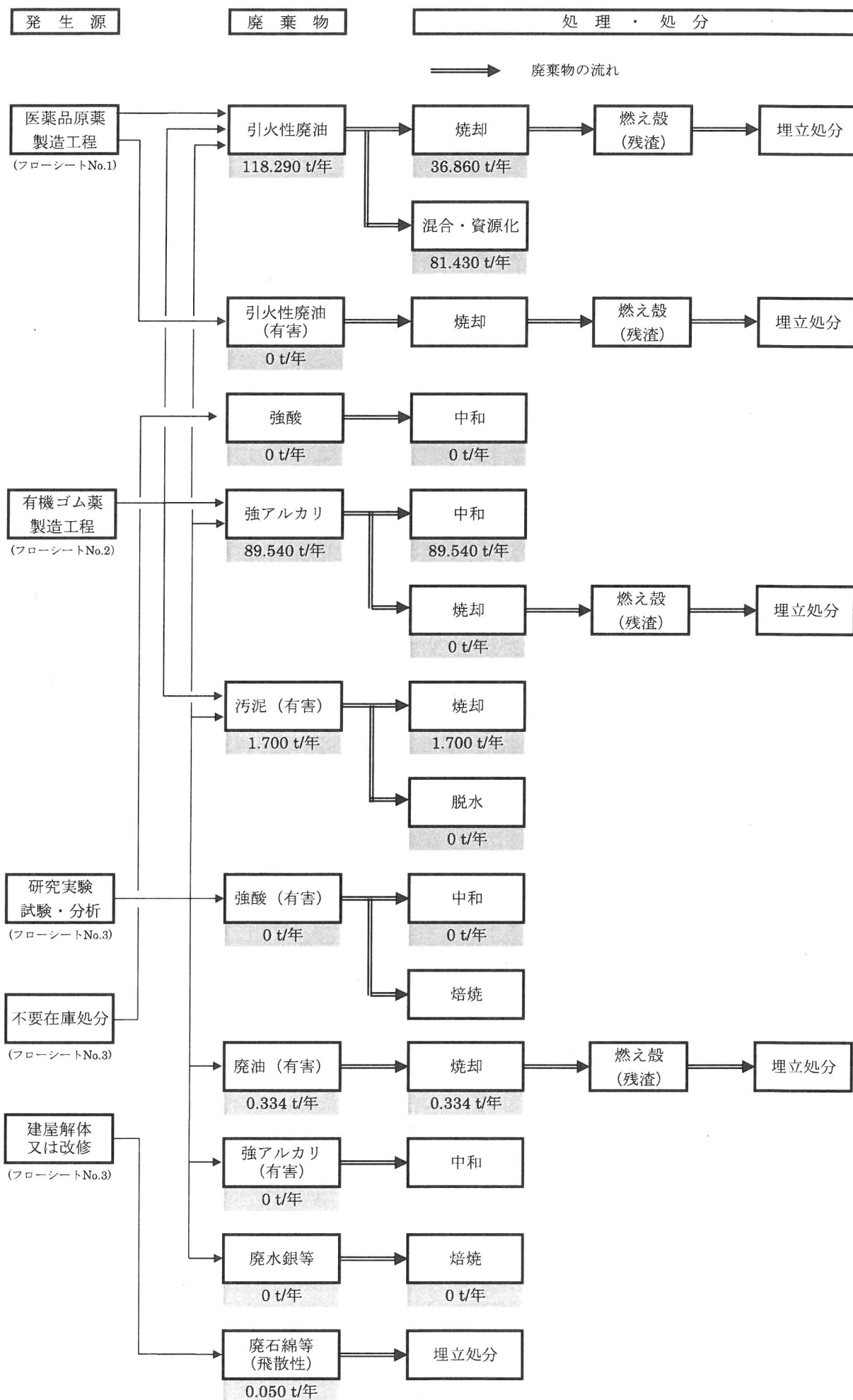
ケース3 (不要在庫処分)



ケース4 (建屋解体又は改修)

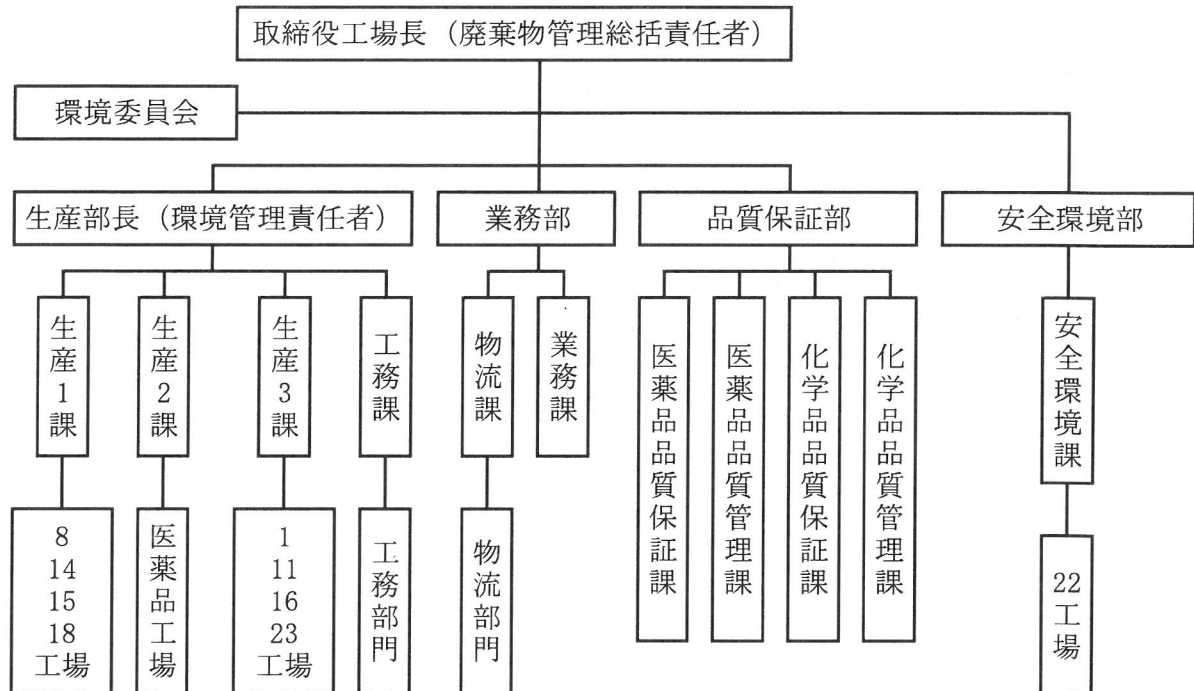


特別管理産業廃棄物処理フロー図（現状）



産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の処理に係る管理体制

(1) 組織図



(2) 職務分担

役割	担当者	職務内容	
総括責任者	工場長	・ 廃棄物の適正管理の総括責任者 ・ 廃棄物削減計画及び報告書の責任者 (大内新興化学工業(株) 須賀川工場 取締役工場長)	
環境委員会委員長		・ ISO-14001のシステムにより、環境方針に基づく廃棄物の削減、リサイクルを促進するため全部門が活動 (委員長：工場長、環境管理責任者：生産部長、事務局：安全環境課)	
特別管理産業廃棄物管理責任者	安全環境課長	・ 特別管理産業廃棄物の適正管理	
廃棄物管理担当者		・ 廃棄物の処理と管理に関する規定の策定 ・ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ・ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ・ 委託契約の締結 ・ マニフェストの交付、管理 ・ 監督官庁への各種報告 ・ 社員に対する教育、啓発	
		物流課長	・ 廃パレットの管理
		工務課長	・ 金属くず類の管理

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項								
【前年度（令和7年度）実績】								
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃石綿等 (飛散性)	強アルカリ	廃油（有害）	汚泥（有害）	—	—
	排出量	118.290 t	0.050 t	89.540 t	0.334 t	1.700 t	—	—
	（これまでに実施した取組） 再資源化。 （燃料リサイクル）		—	—	—	—	—	—
【目標】								
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	廃石綿等 (飛散性)	強アルカリ	廃油（有害）	汚泥（有害）	—	—
	排出量	110.000 t	0.000 t	81.000 t	0.300 t	1.500 t	—	—
	（今後実施する予定の取組） 再資源化の継続 実施。		—	—	—	—	—	—
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項								
①現状	(分別している特別管理産業 廃棄物の種類及び分別に関す る取組)	引火性廃油	廃石綿等 (飛散性)	強アルカリ	廃油（有害）	汚泥（有害）	—	—
		工程で発生した物を専用容器に入れ、指定場所に保管する。	工程で発生した物を専用容器に入れ、指定場所に保管する。	工程で発生した物を専用容器に入れ、指定場所に保管する。	工程で発生した物を専用容器に入れ、指定場所に保管する。	工程で発生した物を専用容器に入れ、指定場所に保管する。	—	—
②計画	(今後分別する予定の特別管理 産業廃棄物の種類及び分別に 関する取組)	—	—	—	—	—	—	—

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
【前年度（令和7年度）実績】									
①現状	特別管理産業廃棄物の種類		引火性廃油	廃石綿等	強アルカリ	廃油（有害）	汚泥（有害）	—	—
	全処理委託量		118,290 t	0.050 t	89,540 t	0.334 t	1,700 t	—	—
	優良認定処理業者への処理委託量		118,290 t	0.050 t	89,540 t	0.334 t	1,700 t	—	—
	再生利用業者への処理委託量		81,430 t	—	—	—	—	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量		—	—	—	—	—	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		—	—	—	—	—	—	—
	再資源化（これまでに実施した取組）		再資源化（燃料リサイクル）	—	—	—	—	—	—
	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類		引火性廃油	廃石綿等	強アルカリ	廃油（有害）	汚泥（有害）	—	—
②計画	全処理委託量		110,000 t	0.000 t	81,000 t	0.300 t	1,500 t	—	—
	優良認定処理業者への処理委託量		110,000 t	0.000 t	81,000 t	0.300 t	1,500 t	—	—
	再生利用業者への処理委託量		73,000 t	—	—	—	—	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量		—	—	—	—	—	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		—	—	—	—	—	—	—
	（今後実施する予定の取組）		再資源化の継続実施。	—	—	—	—	—	—